

池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 *High Light* 第5次中期経営計画Plusの進捗

【2024年度 第2四半期】HD連結当期純利益は**84億円**（前年同期比+18億円、当初計画比+28億円）

【2024年度 通期計画】HD連結当期純利益を**110億円 ⇒ 129億円**（前年同期比+21億円）に上方修正

1株あたりの年間配当予想を**12.5円 ⇒ 15円**に上方修正



詳細情報は
コチラ

預貸金収支

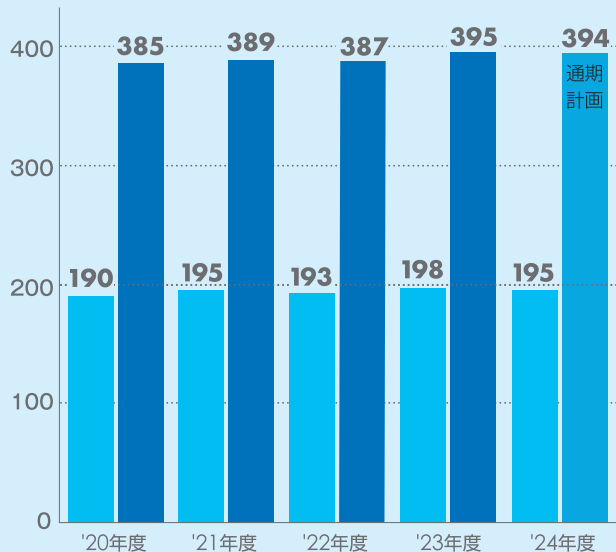
預金と貸出金の利ざやから得られる

預貸金収支は**195億円**

（前年同期比▲3億円）

■ 第2四半期 ■ 通期

（億円）



非金利収益

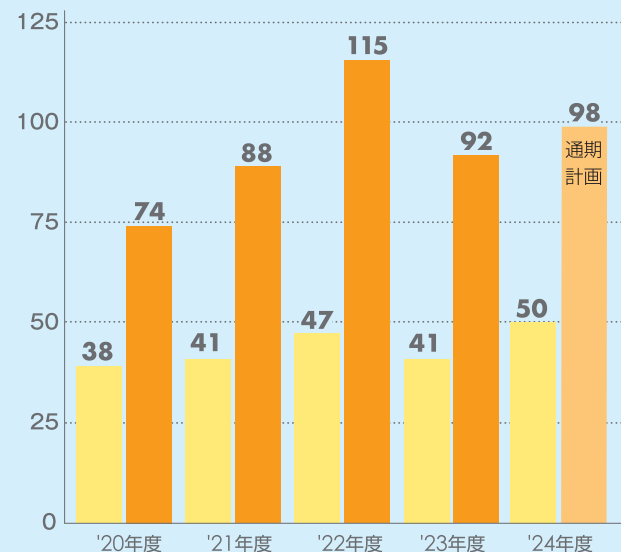
個人・法人の手数料を中心とした

非金利収益は**50億円**

（前年同期比+9億円）

■ 第2四半期 ■ 通期

（億円）



・預貸金収支は前年同期比▲3億円の195億円となりました。
貸出金利回りの上昇に伴い貸出金利息は増加しましたが、それ以上に預金金利引き上げで預金利息が増加したことによるものです。

・非金利収益は前年同期比+9億円の50億円となりました。
外為関連手数料や融資関連手数料（手数料型住宅ローン）が増加したことによるものです。

本業利益*

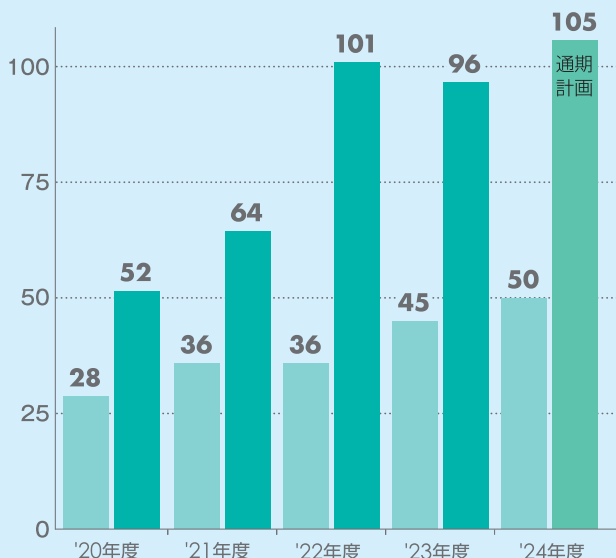
お客さまとの取引から得られる

本業利益は**50億円**

（前年同期比+5億円）

■ 第2四半期 ■ 通期

（億円）



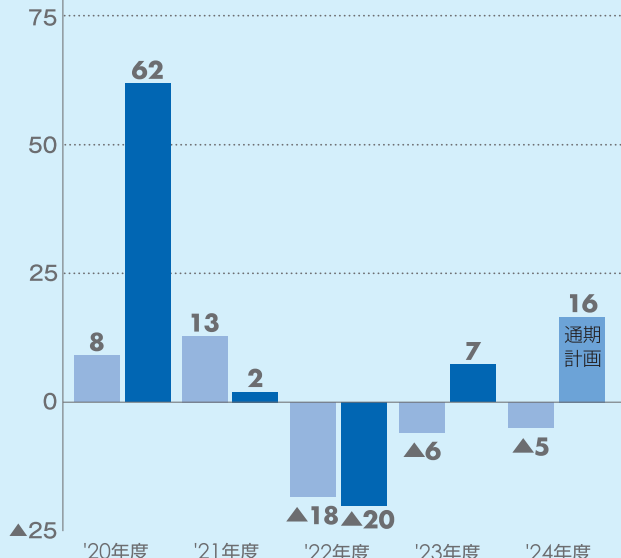
与信費用

与信費用は**5億円**の取崩し益

（前年同期比+1億円）

■ 第2四半期 ■ 通期

（億円）



・本業利益は前年同期比+5億円の50億円となりました。
預貸金収支は減少しましたが、非金利収益が増加したことによるものです。

・第2四半期の与信費用は5億円の取崩し益となりました。
貸倒引当率が低下したことに加え、22年度末に計上したゼロゼロ融資の返済開始による影響を見据えた予防的引当が、対象となる融資残高の減少等に伴い一部取崩しになったことによるものです。

※本業利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋債務取引等利益－営業経費